

10月29日(火)

2019年(令和元年)

発行所：大阪市北区梅田3丁目4番5号
〒530-8251 電話(06)6345-1551
毎日新聞大阪本社

乳がん 日ごろから自己検診を



キャンドルに点灯する矢方美紀さん(右)と梅村定司医師—九度山町の慈尊院で

橋本 乳がんの早期発見・治療を呼びかける第8回「乳がんの日」、自己検診が大切になる。つた。昨年初めて乳がん啓ちプロジェクト・市民公開講座が26日、橋本市保健福祉センター(同市東家)であった。思春期・若年成代人がテーマに元SK E 48メンバーでタレントの矢方美紀さんが、約250人が聴き入った。

講座ではまず、紀和病院・紀和フレスト(乳腺)センター(同市岸上)の梅村定司医師が、15〜39歳の世代の若年性乳がんについて解説。「マンモグラフィでできるなら治療を乗り越えようと考えた」と振り返り、自己検診が大切になる。つた。昨年初めて乳がん啓ちプロジェクトにも参加し、「自己検診が大切になる。つた。昨年初めて乳がん啓ちプロジェクトにも参加し、自分病気が分かったからこその自覚したらずに医療機関を訪ねてほしい」と話した。

講演後、乳がん平癒祈願した。矢方美紀さんは、自分で左胸の上にしこりを見つけた。病院で乳がんが診断された。リンパ節への転移も分かり、再発を防ぐために左乳房の全摘手術を受けた。入院を前に退院すれば仕事に復帰する。仕事

SK E 矢方さん 体験語る

は昨年、自分で左胸の上にしこりを見つけた。病院で乳がんが診断された。リンパ節への転移も分かり、再発を防ぐために左乳房の全摘手術を受けた。入院を前に退院すれば仕事に復帰する。仕事

【松野和生】

THE YOMIURI SHIMBUN

読賣新聞

2019年(令和元年)

10月29日 火曜日

乳がん闘病「一歩ずつ」

橋本元 SK E 矢方さん 講座



自身の乳がんの闘病経験について語る矢方さん(橋本市で)

乳がんを経験したタレントでアイドルグループ「SK E48」の元メンバー、矢方美紀さん(27)らが講師を務める市民公開講座「いのちin ochi is 一歩一歩、前へ。」が26日、橋本市保健福祉センターで開かれた。

医療法人南労会・紀和病院(橋本市)の乳がん専門診療科「紀和フレストセンター」などが企画した。矢方さんは患者ら約300人を前に自身の闘病について講演。25歳の時に左胸にしこりがあることに気づき、検査を受けて乳がんと

判明、手術を受けたという。「以前は検査が怖かったが、今は検査を受けたい」との方向が怖い」と語った。

また、医師から「今は仕事をしながら治療を受ける人が多い。仕事をしたいのならしてください」と助言されたといい、「仕事に復帰する上で、この言葉が大きな支えになった」と話した。さらに「声優になるという夢に向かって一歩ずつ進みたい」と決意を語った。

梅村定司・同センター長も講義し、「日頃から自分の乳房に関心を持ち、乳房を意識して生活してほしい」と呼びかけた。

夕方には、矢方さんらが世界遺産・慈尊院(九度山町)でキャンドルに点灯。多宝塔を乳がん撲滅のシンボルカラーのピンク色にライトアップした。